

CASIO®

データコレクションターミナル DT-X7シリーズ

取扱説明書

- この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますのでご使用前にひと通りお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みにになった後も大切に保管してください。
- 保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。



本書では、特に明記していない場合はレーザーモデルのイラストで説明しています。

本製品は、株式会社ブライセンが著作権を保有する BL-RAPPORE Stack および My Wirefree Network Bluetooth User Interface Application を、ライセンスを受けて搭載しています。



BLUETOOTHは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.A が所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

Microsoft, Windowsは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意

警告

■ 分解・改造しないでください



分解禁止

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

■ 異常状態で使用しないでください



注意

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターにご連絡ください。

■ 異物が入ったときは



注意

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 破損したときは



注意

- 万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 水などがかからないようにしてください



禁止

- DT-X7は防沫仕様ですが、オプションのI/Oボックス等は防沫仕様ではありませんので、水などの入った容器または金属物を置かないでください。また、DT-X7を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ レーザ光をのぞき込まないでください



- 本機は、レーザー光でスキャンします。レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

注意

■ 異物が入らないようにしてください



禁止

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 設置場所について



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください



禁止

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 表示画面の取り扱いについて



禁止

- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
- 分解、改造をしないでください。分解により感電の恐れや、内部の精密部品がこわれたり、表示面にキズがついたりゴミが入ることがあります。

無線通信機能の取り扱いについて

警告

■ 他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）



注意

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能を OFF にするか本製品の電源を切ってください。
電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能を OFF にするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能を OFF にしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

注意

■ 他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）



注意

- 本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
 - その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「商品についてのご相談」に記載されている連絡先までお問い合わせください。



この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。



この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

別売のリチウムイオン充電電池パックについて

危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告



禁止

- 充電電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意



禁止

- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。

AC 電源の使用について

警告



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプタ（特にプラグやジャック部分）の清掃には洗剤を使用しないでください。



注意

- 必ず専用 AC アダプタをお使いください。専用品以外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意



禁止

- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります（必ずプラグを持って抜いてください）。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

AC アダプタについて

注意



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



プラグを抜く

- AC アダプタは年に 1 回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。
AC アダプタにほこりがたまると、湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

重要なデータは控えをとっておいてください

注意



注意

- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

■ 使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● **電池が消耗した状態で使い続けしないでください。**

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

● **消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。**

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

● **各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。**

範囲外で使用すると故障の原因となります。

● **次のような場所での使用は避けてください。**

本機の故障、破損の原因になります。

- ・ 静電気が発生しやすいところ
- ・ 極端に高温または低温のところ
- ・ 湿度の高いところ
- ・ 急激な温度変化が起こるところ
- ・ ほこりの多いところ

● **本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。**

本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。

● **DT-X7 は JIS 防沫型に準拠しておりますが、次の点に十分ご注意の上でご使用ください。**

- ・ 多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- ・ 雨中で長時間使用しないでください。
- ・ 電池フタを確実に閉めてご使用ください。
- ・ 雨中でキーを強く押さないでください。

● **液晶パネルについて**

液晶パネルは高精度な技術で作られており、有効画素は 99.99% 以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で故障ではありません。

●充電池パックについて

充電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。

充電池パックを長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。
- 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。残量が少なくなってから充電してください。
- 指定の温度範囲で充電してください。指定の温度範囲は機器により違います。取扱説明書を参照してください。範囲外での充電は電池を劣化させる原因になります。
- 低温環境でのご使用は、充電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、充電池パックの寿命も短くなります。
- 充電池パックが冷えている状態での充電は電池を劣化させる原因になります。低温環境での作業後は、充電池パックを常温に戻して（1時間程度放置して）から充電してください。
- 充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電池パックと交換してください。
- 長期間保存する場合は充電池パックが満充電の状態では保存しないでください。長期間保存するときは、電池残量が30～50%の状態、低温下で保存してください。電池の劣化が少なくなります。
- 充電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、満充電状態での高温保存（使用）は、短期間での劣化を招くことがあります。

はじめに

- ・本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- ・本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- ・本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- ・保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間（購入日）」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- ・万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- ・安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

●本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力下さい。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収については、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

| | |
|---|----|
| 安全上のご注意..... | 3 |
| 使用上のご注意..... | 12 |
| はじめに | 14 |
| 付属品の確認 | 17 |
| 本機のシステム体系図 | 18 |
| 各部の名称とはたらき | 21 |
| 充電電池パックの取り付け/取り外し..... | 23 |
| 取り付け | 24 |
| 取り外し | 25 |
| ハンドストラップの取り付けかた..... | 26 |
| 本機の設定について..... | 27 |
| マウスエミュレータ機能を使う | 27 |
| 画面の明るさを調節する | 29 |
| 画面の明るさを自動減光する..... | 29 |
| レーザーキャナの取り扱い | |
| (DT-X7M50、M50S、M50SB、M60SBのみ) ... | 30 |
| 接触読みガイドの取り付けかた..... | 30 |
| 警告ラベルについて | 31 |
| バーコードをスキャンする位置..... | 31 |
| レーザー発光幅調整法について | 32 |
| CMOS イメージャの取り扱い | |
| (DT-X7M52、M52S、M52SB、M62SBのみ) ... | 34 |
| 警告ラベルについて | 35 |
| リニアイメージャの取り扱い | |
| (DT-X7M53SBのみ) | 36 |
| 注意ラベルについて | 37 |
| データ通信について..... | 38 |
| 赤外線通信..... | 38 |
| Bluetooth®通信 | 39 |
| リセットのしかた..... | 40 |
| フルリセット(ハンディターミナルの初期化)について | 41 |
| DT-X7の仕様..... | 42 |
| I/Oボックス(HA-F60IO/HA-F60IOA)の 取り扱い..... | 47 |
| 各部の名称とはたらき | 47 |
| I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続..... | 49 |
| I/Oボックス(HA-F60IO/HA-F60IOA)の仕様 | 52 |

| | |
|---|-----------|
| LAN I/O ボックス | |
| (HA-F62IO/HA-F62IOA)の取り扱い | 53 |
| 各部の名称とはたらき | 53 |
| LAN I/O ボックスの電源の取り付けかたと接続..... | 55 |
| LAN I/O ボックス(HA-F62IO/HA-F62IOA)の仕様 | 59 |
| 置くだけ充電器(HA-F30CHG)の取り扱い | 60 |
| 各部の名称とはたらき | 60 |
| 置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続 | 61 |
| 置くだけ充電器(HA-F30CHG)の仕様..... | 62 |
| 置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の | |
| 取り扱い | 63 |
| 各部の名称とはたらき | 63 |
| 付属品 | 64 |
| 充電のしかた..... | 65 |
| 2台以上の接続 | 66 |
| 置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の仕様..... | 67 |
| デュアル充電器(HA-F32DCHG)の取り扱い | 68 |
| 各部の名称とはたらき | 68 |
| 付属品 | 68 |
| 充電のしかた..... | 70 |
| 2台以上の接続 | 71 |
| デュアル充電器(HA-F32DCHG)の仕様 | 72 |
| 充電電池パック(HA-F20BAT/HA-F21LBAT)の | |
| 取り扱い | 73 |
| 標準充電電池パック(HA-F20BAT)の仕様 | 73 |
| 大容量充電電池パック(HA-F21LBAT)の仕様 | 73 |
| ハンドベルト(HA-F95HB)の取り付けかた | 74 |
| 同梱品 | 74 |
| 取り付けかた..... | 74 |
| 乾電池パック(HA-F22BC)の取り扱い | 76 |
| アルカリ乾電池の取り扱いについて | 76 |
| 同梱品 | 78 |
| 取り付けかた..... | 78 |
| 取り外しかた..... | 79 |
| 乾電池パック(HA-F22BC)の仕様..... | 79 |

■ 付属品の確認

本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

箱を開けたら、まず、次の付属品が全部そろっているか、確認してください。

● 本体



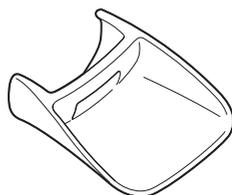
* DT-X7M52、M52S、M52SB、
M53SB、M62SB には、バーコード
読み取り口にプロテクタが取り付
けてあります。

● 大容量充電電池パックカバー



● 接触読みガイド

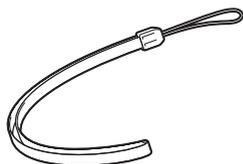
(DT-X7M50、M50S、M50SB のみ)



● 取扱説明書（本書）

● 保証書

● ハンドストラップ



本機のシステム体系図

DT-X7 シリーズ
(本体)



別売品一覧

I/O ボックス

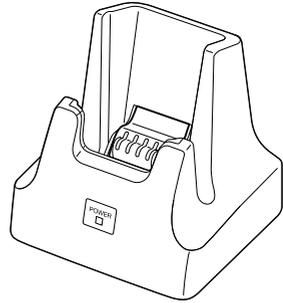
HA-F60IO/
HA-F60IOA

LAN I/O ボックス

HA-F62IO/
HA-F62IOA

置くだけ充電器

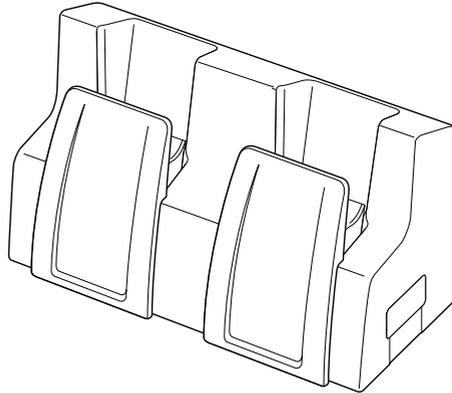
HA-F30CHG



図は I/O ボックス(HA-F60IO)
です。

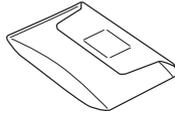
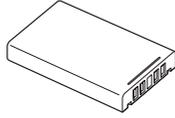
置くだけ集合充電器

HA-F36DCHG

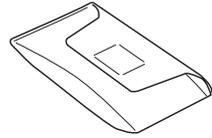
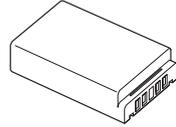


充電電池パック

HA-F20BAT
(標準充電電池パック)

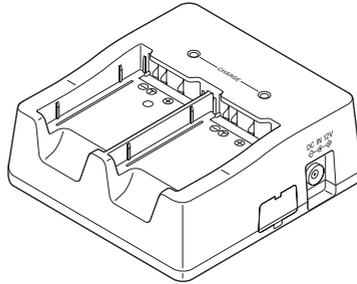


HA-F21LBAT
(大容量充電電池パック)



デュアル充電器

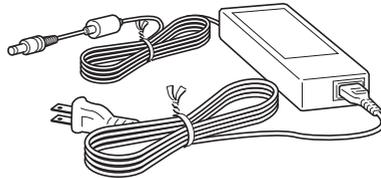
HA-F32DCHG



I/O ボックス / LAN I/O ボックス / デュアル充電器用 AC アダプタ

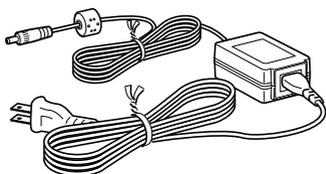
AD-S42120B

AD-S42120C



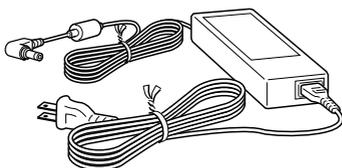
置くだけ充電器用 AC アダプタ

AD-S15050B



置くだけ集合充電器用 AC アダプタ

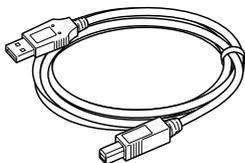
AD-S60160B



ケーブル

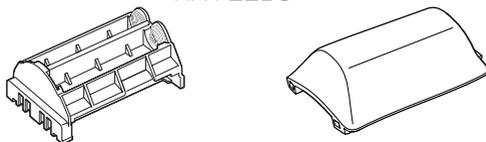
DT-380USB-A

(I/O ボックスー PC 接続用ケーブル (USB))



乾電池パック

HA-F22BC



※ DT-X7M52、M52S、M52SB、M60SB、M62SB には使用できません。

ハンドベルト

HA-F95HB



各部の名称とはたらき

<天面>



DT-X7M50
DT-X7M50S
DT-X7M50SB
DT-X7M60SB

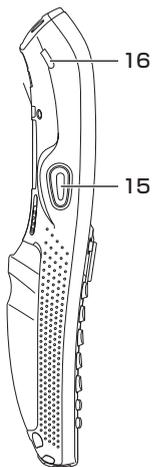


DT-X7M52
DT-X7M52S
DT-X7M52SB
DT-X7M62SB

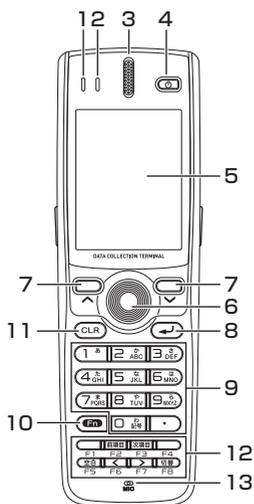


DT-X7M53SB

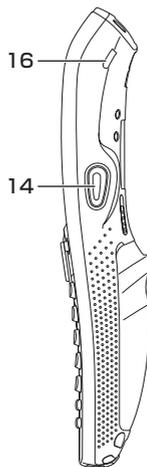
<左側面>



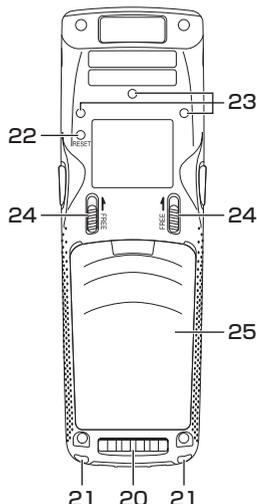
<正面>



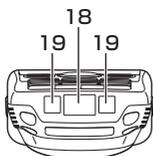
<右側面>



<裏面>



<底面>



| | | |
|---|----------|---|
| 1 | インジケータ 1 | オレンジ色点灯 : 充電中 緑色点灯 : 充電完了 赤色点灯 : 電池パックの異常または充電可能温度範囲外 |
| 2 | インジケータ 2 | BT 使用時は青色に、WLAN 使用時はオレンジ色に点滅します。バーコードが正常に読み取れたときは緑色に点灯します。通信可能状態になると、マゼンタ色が点滅します (LAN 接続時は除く) (サービスパック Ver. 1.02 がインストールされている場合)。 |
| 3 | スピーカー | アラーム音など、各種音声が出力されます。 |
| 4 | 電源キー | 電源を ON/OFF するキーです。 |
| 5 | 画面 | 文字や操作の指示などが表示されます。 |

| | | |
|----|-------------------|--|
| 6 | センタートリガーキー | バーコードを読み取る操作をするキーです。任意の機能を設定することもできます。 |
| 7 | カーソルキー | パソコンの上下キーと同等の働きをします。 |
| 8 | 決定キー | 数値入力完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。 |
| 9 | テンキー | 数値や小数点を入力するときに押します。 |
| 10 | Fn キー | ファンクションキーやテンキーと組み合わせて、各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。 |
| 11 | CLR キー | 入力したキーの左 1 文字を取り消すときに押します。 |
| 12 | ファンクションキー | バーコード読み取り以外の任意の機能を設定することが可能なキーです。 初期設定では次のようになっています。 F1：パソコンの Alt キーと同等の働きをします。 F2：おもにパソコンの Shift+Tab キーと同等の働きをします。 入力もしくは選択する項目の移動に使います。 F3：おもにパソコンの Tab キーと同等の働きをします。 入力もしくは選択する項目の移動に使います。 F4：なし F5：スペースを入力 F6：パソコンの左カーソルキーと同等の働きをします。 F7：パソコンの右カーソルキーと同等の働きをします。 F8：文字入力切替 (数→ひらがな→カタカナ→アルファベット (大文字) →アルファベット (小文字)) |
| 13 | マイク | 音声を入力します。 |
| 14 | R トリガーキー | バーコードを読み取る操作をするキーです。 |
| 15 | L トリガーキー | バーコードを読み取る操作をするキーです。 |
| 16 | 接触読みガイド取り付け部 | 接触読みガイドを取り付けます。 (DT-X7M50、M50S、M50SB のみ) |
| 17 | バーコード読み取り口 | この窓からレーザーが照射され、バーコードを読み取ります。 |
| 18 | 赤外線通信ポート | 本体間通信などに使います。 |
| 19 | 給電端子 | I/O ボックスや置くだけ充電器からの給電に使います。 |
| 20 | データ通信端子 | データ通信を行う端子です。 |
| 21 | ストラップホール | ハンドストラップを取り付けます。ハンドベルトを取り付けるときも使います。 |
| 22 | リセットスイッチ | リセットするときに押します。 |
| 23 | ハンドベルト取り付け部 | ハンドベルトを取り付けます。 |
| 24 | 充電電池パックカバーロックスイッチ | 充電電池パックカバーを開けるときにスライドさせます。 |
| 25 | 充電電池パックカバー | この中に充電電池パックを取り付けます。 |

■ 充電電池パックの取り付け／取り外し

本機では 2 種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電電池パックを使います。使用できる充電電池パックは 2 種類あり、標準充電電池パック(HA-F20BAT)と大容量充電電池パック(HA-F21LBAT)があります。

バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池 : 動作用の充電電池パックのこと

バックアップ電池 : 本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと

充電電池パック : メイン電池として使用する、標準充電電池パック(HA-F20BAT)と大容量充電電池パック(HA-F21LBAT)の総称

メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。充電電池パックは、デュアル充電器、置くだけ充電器、置くだけ集合充電器、I/O ボックス、LAN I/O ボックスを使用して充電できます。

充電方法は各機種取り扱いのページを参照してください。

■ 使用上のご注意

■ 重要なデータは控えをとっておいてください

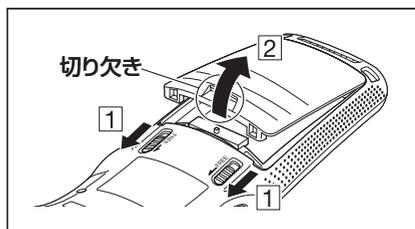
- メイン電池は動作およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- 充電電池パックは出荷前の製品検査や自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- 充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- 電池寿命を過ぎて使用すると、電池パックがふくれる場合があります。そのようなときは充電電池パックを交換してください。
- バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において 30 分でメモリバックアップが 10 分可能な状態になり 2 日間で満充電の状態になります。

取り付け

1 本機を裏返します。

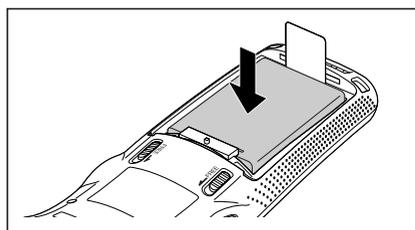
2 次の手順で充電電池パックカバーを取り外します。

- 1 左右の充電電池パックカバーロックスイッチを同時に矢印の方向にスライドさせます。
- 2 スイッチを押さえたまま、充電電池パックカバーの切り欠きに指先をかけて矢印の方向に引き上げます。

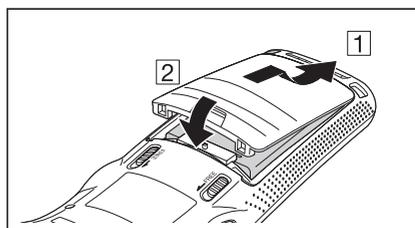


3 標準充電電池パック (HA-F20BAT) または大容量充電電池パック (HA-F21LBAT) を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。

また、取り出しテープの端が充電電池パックの上に出た状態になるように取り付けてください。



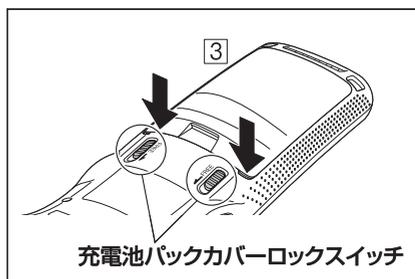
4 1 2 の順番で、充電電池パックカバーを本機にはめ込みます。



図のように、2カ所を矢印の方向にロックスイッチが完全に下がるまで、カバーをしっかりと押し込んでください。

※充電電池パックカバーロックスイッチが、図の位置に戻っていることを確認してください。

※大容量充電電池パックのときは大容量充電電池パックカバーを取り付けてください。



取り外し

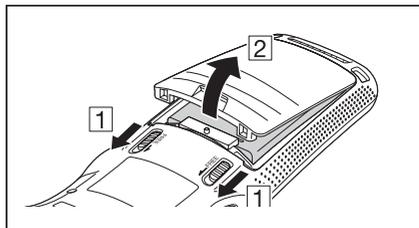
1 電源がOFFになっているのを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

2 本機を裏返します。

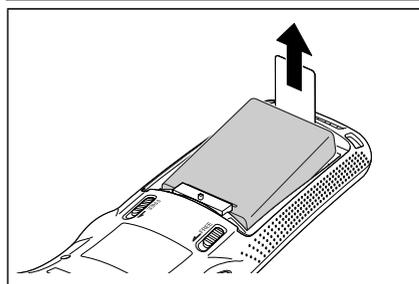
3 次の手順で充電電池パックカバーを取り外します。

① 左右の充電電池パックカバーロックスイッチを同時に矢印の方向にスライドさせます。

② スイッチを押さえたまま、充電電池パックカバーの切り欠きに指先をかけて矢印の方向に引き上げます。



4 図のように充電電池パックを取り出します。



使用上のご注意

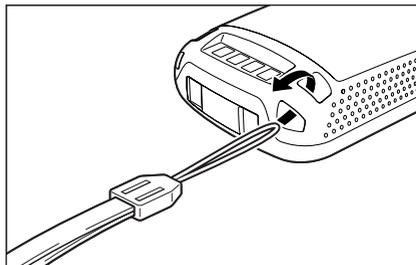
- 充電電池パックの交換は 10 分以内に行ってください。
- 10 分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータは消えてしまいますのでご注意ください。
- 指定された電池以外は使用しないでください。
- 充電電池パックは、取り出しテープを真上に引き上げて取り出してください。無理に取り出すと破損の原因となります。
- 充電電池パックカバーが確実にセットされロックされていることを確認してご使用ください。

確実にセットされていない場合、電源が入らないまたは使用中に電源がオフすることがあります。

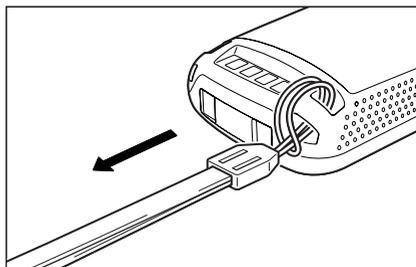
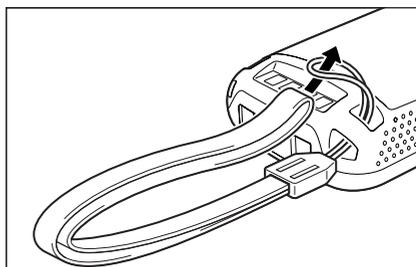
■ ハンドストラップの取り付けかた

本機は、移動するときに落下防止用として、ハンドストラップが使用できます。ストラップホールは2ヶ所ありますので使い勝手の良い方を使用してください。ハンドストラップは次の手順で取り付けてください。

- 1 本体裏面のハンドストラップ取り付け部にハンドストラップの細いひもの輪の部分を通します。



- 2 反対側のひも(手首にかける部分)を細いひもの輪に通します。



使用上のご注意

ハンドストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

■ 本機の設定について

マウスエミュレータ機能を使う

マウスエミュレータ機能とは、マウスカーソルを使って設定や調整を行うことのできる機能です。

お使いになるときは、下の手順でマウスエミュレータ機能を有効にしてください。

有効にすると、テンキー、Rトリガーキーは、マウスカーソルの操作に使用します。(数値入力、バーコードの読み取りには使用できません。)

■ マウスエミュレータ機能を有効にする

- 画面にマウスカーソルがない状態で、“Fn” キー→ “4” キーと続けて押します。

画面にマウスカーソルがあらわれ、マウスエミュレータ機能が有効になります。

※無効にするときは、再度 “Fn” キー→ “4” キーと押してください。

※ “Fn” キー→ “4” キーと押すたびに、有効 / 無効が切り替わります。

■ マウスカーソルの操作

マウスエミュレータ機能が有効な状態で行ってください。

マウスカーソルの移動

- 移動したい方向の数値キー (“5” キーを除く) を押します。



※押し続けると連続で進みます。

左クリック

ファイル選択、メニュー選択などを行うことができます。

- マウスカーソルを左クリックしたい項目に位置づけ、“5” キーを押します。

右クリック(メニュー表示)

- マウスカーソルを右クリックしたい項目に位置づけ、R トリガーキーを押します。

左ダブルクリック

アイコン上でこの操作を行うと、アプリケーションを起動したりファイルを開いたりすることができます。

- マウスカーソルを左ダブルクリックしたい項目に位置づけ、“5” キーを2回続けて押します。

※ダブルクリックのタイミングは WindowsCE のダブルタップ設定に従います。コントロールパネルの「マウス」アイコンから設定変更することができます。

ドラッグ

画面上のアプリケーションアイコン、またファイルエクスプローラのフォルダやファイルをドラッグすることができます。

- マウスカーソルをドラッグしたい項目に位置づけ、“5” キーを押します。“5” キーと同時に数値キーをどれか押してマウスカーソルを移動させると、項目はドラッグされます。“5” キーから指を離すと、その位置でドロップされます。

画面の明るさを調節する

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

- “Fn”キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから、“5”または“6”キーを押します。“5”キーを押すと暗く、“6”キーを押すと明るくなります。

※ 続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“5”または“6”キーを押してください。

画面の明るさを自動減光する

充電電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。

以下の方法で減光するまでの時間を設定してください。

- 1 “前項目”キー／“次項目”キーで[スタート]アイコンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押します。「設定」→[コントロールパネル]の順に“決定”キーを押すと、コントロールパネルが表示されます。



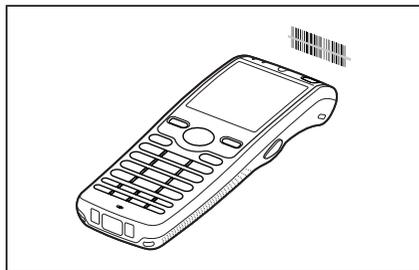
フォーカス

- 2 「明るさ」アイコンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押します。“前項目”キー／“次項目”キーでタブにフォーカスを移動し、“<”キー／“>”キーで[バックライト]タブを選択し、表示された項目を設定します。
※ マウスエミュレータ機能を使って調節することもできます。



レーザーสキャナの取り扱い (DT-X7M50、M50S、M50SB、M60SBのみ)

- 1 電源をONにして、レーザーสキャナをバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



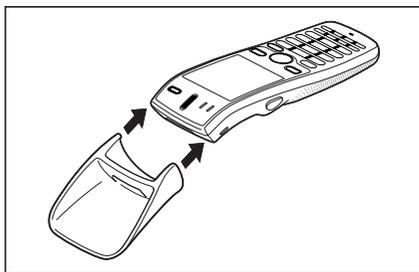
使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は40mm～400mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

接触読みガイドの取り付けかた

付属の接触読みガイドを取り付けることで、スキャンの際、簡単に位置あわせをすることができます。

- 1 図のように取り付けてください。



- 2 取り付け後は確実にセットされていることを確認してください。ガイドの先端をバーコードに着けてスキャンします。

警告ラベルについて

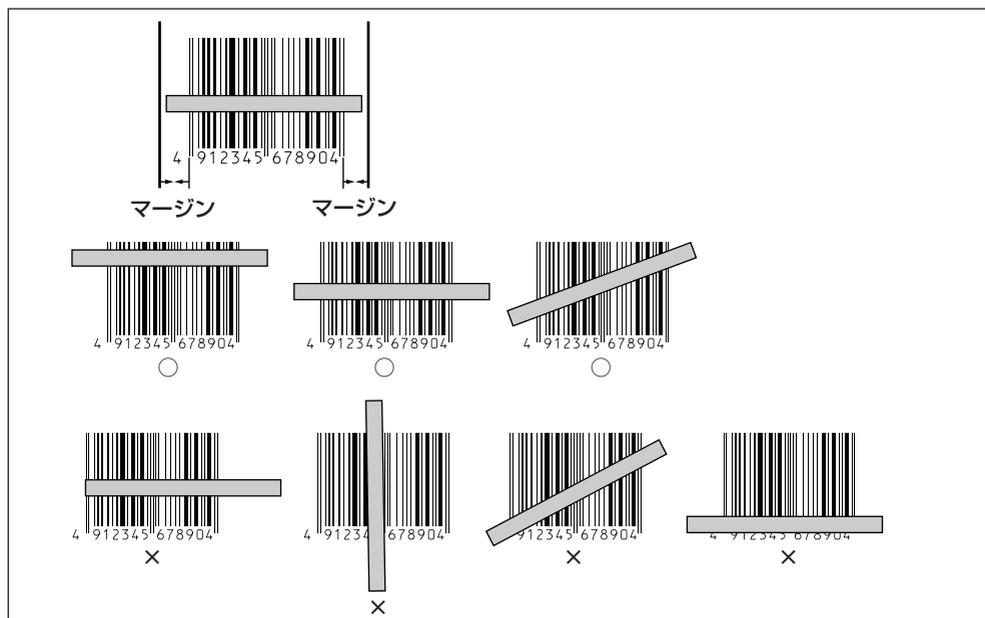


- このラベルは JIS C 6802 に準じた、クラス 2 レーザー製品の警告、注意ラベルです。
- クラス 2 レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力 1mW 未満、波長 650nm です。

バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザースキャナを近づけてお使いください。

大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。



■ レーザ光をのぞきまなしないでください。



• 本機は、レーザ光でスキャンします。

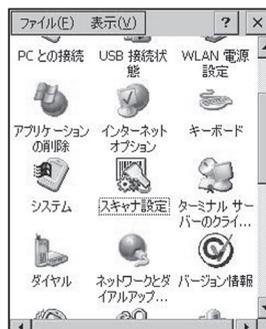
レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

レーザー発光幅調整法について

本機はレーザーの発光幅を切り替えることができます。レーザーの発光幅にずれがある場合は、次の方法で調整してください。

※マウスエミュレータ機能を使って調整することもできます。

- 1 “前項目”キー／“次項目”キーで[スタート]アイコンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押します。「設定」→[コントロールパネル]の順に“決定”キーを押すと、コントロールパネルが表示されます。



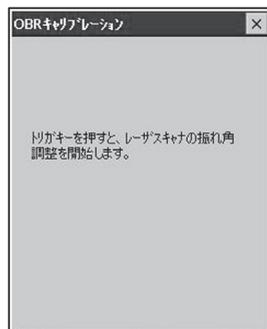
- 2 [スキャナ設定]アイコンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押すと、右の画面が表示されます。



- 3 “前項目”キー／“次項目”キーでタブにフォーカスを移動し、“<”キー／“>”キーで[その他]タブを選択します。



- 4 “前項目”キー／“次項目”キーで[OBRキャリブレーション]ボタンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押すと、右の画面が表示されます。

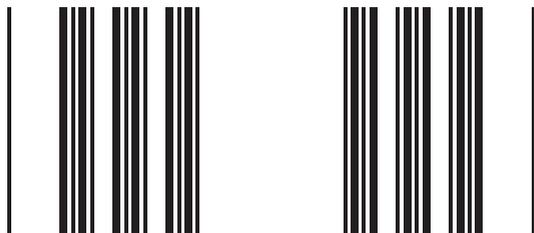


- 5 トリガーキーを押してレーザーを発光させ、発光幅調整用バーコードに光を合わせます。

- ・レーザー光を両サイドにある細いバーに合わせてください。
- ・調整が完了すると右の画面が表示されます。
- ・「設定が失敗しました」と表示されたときは、設定をやり直してください。

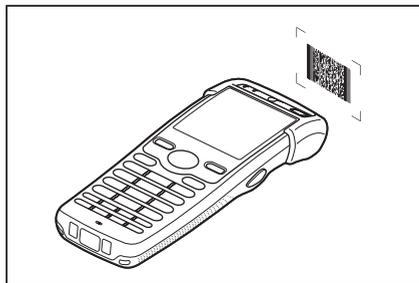


■発光幅調整用バーコード



CMOSイメージャの取り扱い(DT-X7M52、M52S、M52SB、M62SBのみ)

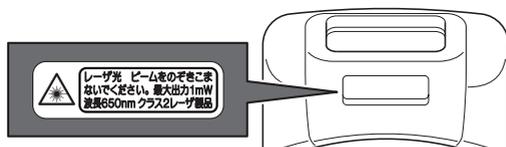
- 1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は40mm～410mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

警告ラベルについて



- このラベルは JIS C 6802 に準じた、クラス 2 レーザー製品の警告、注意ラベルです。
- クラス 2 レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力 1mW 未満、波長 650nm です。



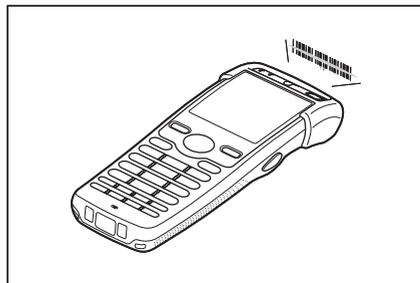
■ レーザ光をのぞき込まないでください。



- レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

■ リニアイメージャの取り扱い (DT-X7M53SB のみ)

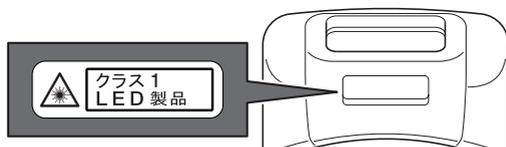
- 1 電源をONにして、リニアイメージャをバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は60mm～300mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

注意ラベルについて



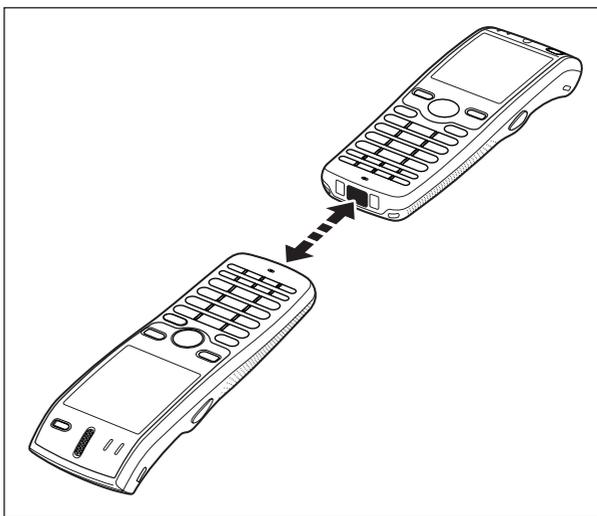
- このラベルは JIS C 6802 に準じた、クラス 1 LED 製品の注意ラベルです。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。

赤外線通信

赤外線通信は本体間の通信などでお使いになれます。

通信を行うときには、本機の赤外線通信ポートと他の機器の赤外線通信ポートが真っすぐに向き合うようにしてください。

0 (接触)～30cm (本体間の通信は最大20cm)以内で通信できます。



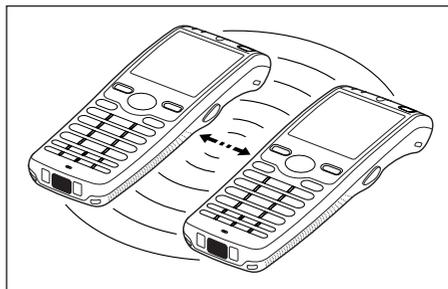
使用上のご注意

- 本機の赤外線通信では、高感度の通信素子を使用しております。
- 通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器（例えば、携帯電話等）のご使用は避けてください。
- これらの機器をご使用になる場合は本機から距離を離して（携帯電話の場合は30cm以上離して）ご使用ください。

Bluetooth[®] 通信

Bluetooth[®] 通信は本体間の通信などでお使いになれます。

相手の機器と3m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。



使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth[®] 機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかつたり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
Bluetooth[®] 通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
 - 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
 - Bluetooth[®] Ver2.0を搭載することにより、本機の無線LANとBluetooth[®] 通信を同時使用することが可能となりますが、周囲の電波環境により通信できない場合があります。

リセットのしかた

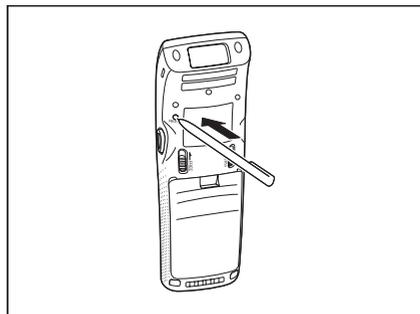
「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったデータや各種設定は消去されます。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをシャープペンシル（芯を出さない状態）など先の細い棒のようなもので押します。

リセット処理が開始されます。

※リセットボタンを押すものに、つまようじや鉛筆など、先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因になります。

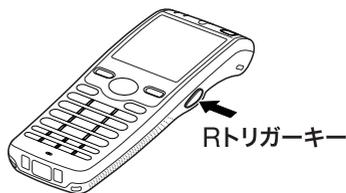
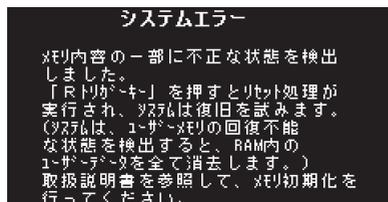


メモリに異常がない場合

起動されます。

メモリに異常がある場合

起動画面が表示されず、次のメッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたらトリガーキーを押してください。リセット処理が続行されます。ただし、メモリの状態によっては、正常にリセット処理が行われない場合があります。その場合は、次のページに記載されているフルリセットを行ってください。

フルリセット（ハンディターミナルの初期化）について

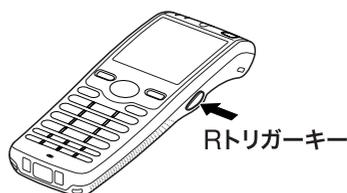
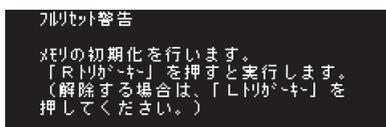
フルリセットを実行すると、Flashdisk フォルダに保存されているデータを除きすべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。

フルリセットは、次のような場合に実行します。

- ・インストールしたプログラムや設定を消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- ・パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- ・メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合
- ・「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました・・・」というメッセージが表示された場合

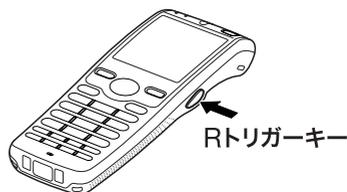
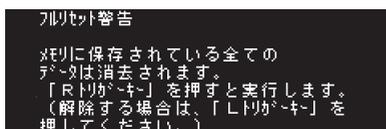
フルリセットの実行のしかた

- 1 電源キーとCLRキーを押しながらリセットボタンをシャープペンシルなど先の細い棒のようなもので約1秒間押し、リセットボタンを先に離します。以下のメッセージが表示されます。



- ・実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

- 2 Rトリガーキーを押すと、以下のメッセージが表示されます。



- ・実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

- 3 再度Rトリガーキーを押します。

- ・フルリセットが実行され、起動画面が表示されます。

使用上のご注意

- ・フルリセットを行うと、Flashdisk フォルダに保存しているデータを除いてすべてのデータが初期化されてしまいます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはFlashdisk フォルダなどへバックアップを行っておいてください。

DT-X7 の仕様

- 型式** : DT-X7M50、DT-X7M50S、DT-X7M50SB、DT-X7M52、
DT-X7M52S、DT-X7M52SB、DT-X7M53SB、DT-X7M60SB、
DT-X7M62SB
- CPU** : Marvell® PXA270 416MHz
- メモリ** : DT-X7M50、M50S、M50SB、M52、M52S、M52SB、M53SB
RAM 64MB、フラッシュROM 64MB (ユーザー領域:約30MB)
DT-X7M60SB、M62SB
RAM 128MB、フラッシュROM 256MB (ユーザー領域:約180MB)
- OS** : Microsoft® Windows® CE 5.0 日本語版
- 表示** : 2.4inch、320 × 240 ドット、カラー半透過型 TFT 液晶
- レーザーキャナ部 (DT-X7M50、DT-X7M50S、DT-X7M50SB、DT-X7M60SB) :**
読み取りコード : UPC-A, UPC-E, EAN8(JAN8), EAN13(JAN13),
Codabar(NW-7), Code39, Interleaved 2 of 5(ITF), MSI, Industrial
2 of 5, Code93, Code128(EAN128), IATA, RSS-14, RSS
Limited, RSS Expanded,
RSS-14 Stacked, RSS Expanded Stacked*
※ RSSは2007年2月GS1 DataBarに名称変更しています。
読み取り距離 : 約40mm ~ 400mm 以内
- CMOS イメージャ部 (DT-X7M52、DT-X7M52S、DT-X7M52SB、DT-X7M62SB) :**
読み取りコード :
1D: UPC-A/UPC-E/EAN8 (JAN8)/EAN13 (JAN13)/Codabar
(NW-7)/Code39/Interleaved 2 of 5 (ITF)/MSI/Code93/
Code128 (EAN128(GS1-128))*/Code11/IATA/RSS-14 (GS1
DataBar Omnidirectional)/RSS Limited (GS1 DataBar Limited)/
RSS Expanded (GS1 DataBar Expanded)
2D Stacked: PDF417/Micro PDF/CODE49/Composite/
Codablock F/TLC39/RSS Expanded Stacked (GS1 DataBar
Expanded Stacked)/RSS-14 Stacked (GS1 DataBar Stacked)**
2D Matrix: Aztec/DataMatrix/Maxicode/QR Code
※ EAN128は2006年1月からGS1-128に名称変更しています。
※※ RSSは2007年2月GS1 DataBarに名称変更しています。
読み取り距離 : 1D: 40 ~ 410mm
2D Stacked: 50 ~ 250mm
2D Matrix: 60 ~ 150mm
- リニアイメージャ部 (DT-X7M53SB) :**
読み取りコード : UPC-A, UPC-E, EAN8(JAN8), EAN13(JAN13),
Codabar(NW-7), Code39, Interleaved 2 of 5(ITF), MSI, Industrial
2 of 5, Code93, Code128(EAN128), IATA, RSS-14, RSS
Limited, RSS Expanded,
RSS-14 Stacked, RSS Expanded Stacked*
※ RSSは2007年2月GS1 DataBarに名称変更しています。
読み取り距離 : 約60mm ~ 300mm

赤外線通信ポート：

インターフェース：IrDA Ver.1.3 Low Power 準拠
同期方式：調歩同期, フレーム同期
伝送速度：4Mbpsまで(MAX)

Bluetooth® 通信：

通信方式：Bluetooth® Ver.2.0+EDR (Class2)
通信距離：約3m (電波の状態や環境により変化します)
出力：最大4dBm (PowerClass2)

無線通信 (DT-X7M50S、DT-X7M50SB、DT-X7M52S、DT-X7M52SB、DT-X7M53SB、DT-X7M60SB、DT-X7M62SB)：

標準規格：IEEE 802.11b 準拠
IEEE 802.11g 準拠
拡散変調方式：DS：802.11b
DS/OFDM：802.11g
無線周波数：802.11b：2.400～2.497 GHz
802.11g：2.400～2.4835 GHz
伝送速度：802.11b：11Mbpsまで
802.11g：54Mbpsまで
伝送距離：屋内50m、屋外150m (使用環境や伝送速度により変化します)

電源：メイン電源用：標準充電電池パック HA-F20BAT
大容量充電電池パック HA-F21LBAT

バックアップ電源用：リチウム充電電池(内蔵)

消費電力：DC1.3A：DT-X7M50
DC1.4A：DT-X7M52
DC1.6A：DT-X7M50S、DT-X7M50SB、DT-X7M53SB
DC1.7A：DT-X7M52S、DT-X7M52SB
DC1.8A：DT-X7M60SB
DC2.0A：DT-X7M62SB

電池寿命：メイン電池：DT-X7M50
約15時間 (HA-F20BAT) *
約26時間 (HA-F21LBAT) *
DT-X7M50S、DT-X7M50SB、DT-X7M53SB
約15時間 (HA-F20BAT) *
約26時間 (HA-F21LBAT) *
約10時間 (HA-F20BAT) **
約17時間 (HA-F21LBAT) **
DT-X7M52
約13.5時間 (HA-F20BAT) *
約23時間 (HA-F21LBAT) *
DT-X7M52S、DT-X7M52SB
約13.5時間 (HA-F20BAT) *
約23時間 (HA-F21LBAT) *
約9時間 (HA-F20BAT) **
約15時間 (HA-F21LBAT) **

DT-X7M60SB

約 13 時間 (HA-F20BAT) *

約 22 時間 (HA-F21LBAT) *

約 9.5 時間 (HA-F20BAT) **

約 16 時間 (HA-F21LBAT) **

DT-X7M62SB

約 19 時間 (HA-F21LBAT) *

約 14 時間 (HA-F21LBAT) **

* CPU スピード設定が自動パワーセーブモードでバックライト OFF、待機：キー入力：スキャンが 20：1：1 の場合

** CPU スピード設定が自動パワーセーブモードでバックライト OFF、待機：キー入力：スキャン：無線が 20：1：1 の場合

バックアップ電池：10 分（メモリ（RAM）バックアップ）
3 日（時計バックアップ）

動作温度 : - 10 ~ 50℃ (充電は 0 ~ 40℃) (DT-X7M50、M50S、M52、M52S)
- 20 ~ 50℃ (充電は 0 ~ 40℃) (DT-X7M50SB、M52SB、M53SB、M60SB、M62SB)

動作湿度 : 10 ~ 80%RH (結露なきこと)

防水防塵性能 : JIS 防沫形準拠、IEC529 IP54 準拠

大きさ : 次のページの「外形寸法図」をご覧ください。

質量 : 約 145g (DT-X7M50、M50S、M50SB、M60SB) (標準充電電池パック含む)

約 180g (DT-X7M62SB) (大容量充電電池パック、プロテクタ含む)

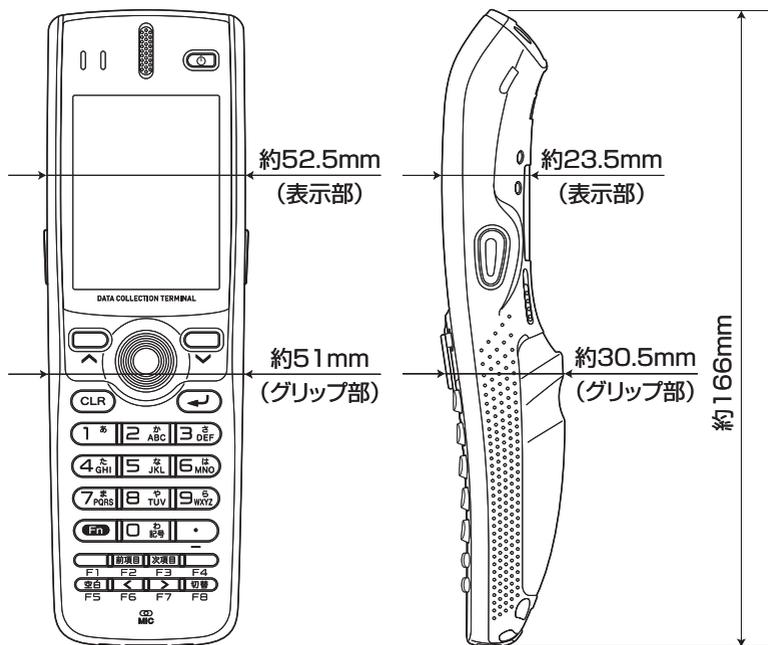
約 160g (DT-X7M52、M52S、M52SB) (標準充電電池パック、プロテクタ含む)

約 165g (DT-X7M53SB) (標準充電電池パック、プロテクタ含む)

バイブレータ機能 : ソフトウェアの設定により使用可

<外形寸法図>

レーザーモデル：



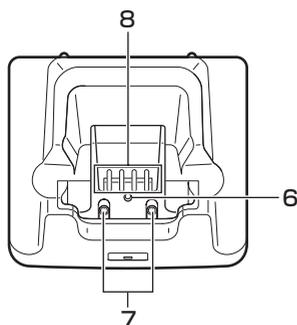
I/Oボックス(HA-F6010/HA-F6010A)の取り扱い

別売のI/Oボックス(HA-F6010/HA-F6010A)は、DT-X7とパソコンなどとの間でUSBインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-X7を接続して充電電池パックを充電することができます。

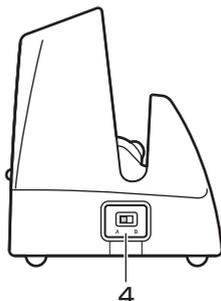
各部の名称とはたらき

HA-F6010とHA-F6010Aに共通の内容は、HA-F6010のイラストで説明しています。

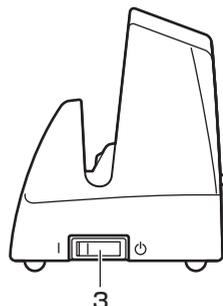
上面



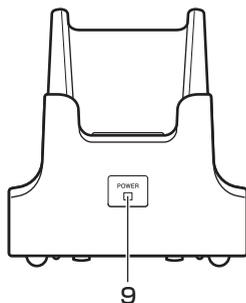
左側面



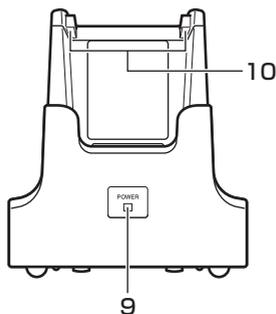
右側面 (HA-F6010A)



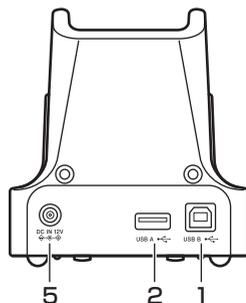
正面 (HA-F6010)



正面 (HA-F6010A)



背面

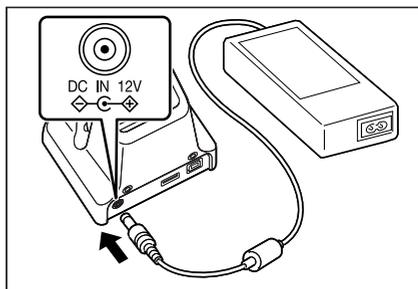


| | | |
|----|----------------|---|
| 1 | USB クライアント用ポート | USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。 |
| 2 | USB ホスト用ポート | 対応する USB 周辺機器との接続に使用します。 |
| 3 | 電源スイッチ | 電源を ON/OFF するスイッチです。 |
| 4 | 切替スイッチ | USB ホストと USB クライアントの切替えを行うスイッチです。 |
| 5 | AC アダプタジャック | ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。 |
| 6 | 本体装着検知用スイッチ | DT-X7 が正しくセットされていることを検知するスイッチです。 |
| 7 | 給電端子 | DT-X7 へ電源を供給する端子です。 |
| 8 | データ通信端子 | USB 通信を行う端子です。 |
| 9 | 電源表示用 LED | 電源の状態、DT-X7 の装着状態を表示します。 消灯 : DT-X7 は装着されていません。 緑色点灯 : 電源 ON、DT-X7 が正常に装着されています。 |
| 10 | DT-X7 固定用フック | DT-X7 を I/O ボックスに固定するときに使用します。 |

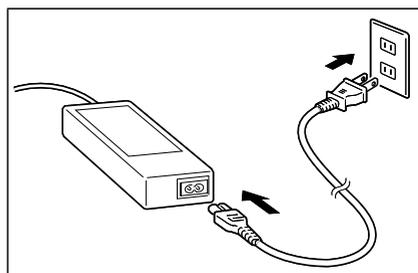
I/O ボックスの電源の取り付けかたと接続

I/Oボックスの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。
DT-X7とデータ通信する前に必ずI/OボックスとACアダプタを接続してください。
DT-X7への電源はI/Oボックスから供給されます。

- 1 I/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

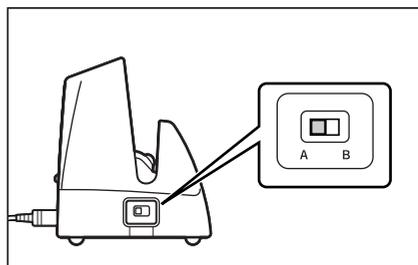


- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



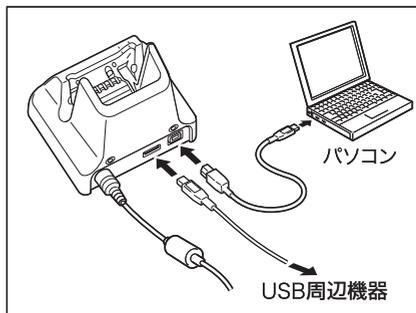
- 3 I/Oボックスの左側面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

USB クライアントを使用する場合は B 側に、USB ホストを使用する場合は A 側にセットしてください。



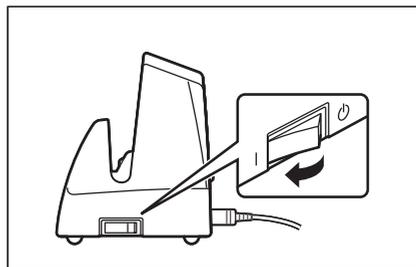
- 4** USBケーブル(DT-380USB-A)をI/Oボックス背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



5 (HA-F60IOAの場合のみ)

I/Oボックスの右側面にある電源スイッチをONにします。I/Oボックス前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



6 (HA-F60IOの場合)

DT-X7底面の端子とI/Oボックスの給電端子を合わせるようにして装着します。

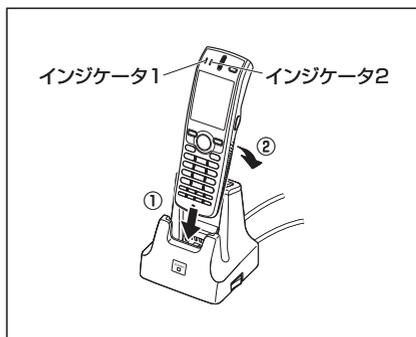
DT-X7が正しく装着されるとI/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

(HA-F60IOAの場合)

DT-X7底面の端子とI/Oボックスの給電端子を合わせるようにしてから押し込み(①)、I/Oボックスの固定用フックにDT-X7の固定部(くぼみ)を合わせて装着します(②)。

DT-X7が正しく装着されると充電が開始され、I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

DT-X7をI/Oボックスから外すときは、DT-X7を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。



DT-X7 のインジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯：充電パックの異常、充電可能温度でないため待機中（充電可能温度になると充電開始）

緑色点灯：充電完了

DT-X7 のインジケータ 2 の表示

青色点滅：Bluetooth® 使用時

オレンジ色点滅：WLAN 使用時

マゼンタ色点滅：通信可能状態（サービスパック Ver.1.02 がインストールされている場合）

緑色点灯：バーコードが正常に読み取れたとき

使用上のご注意

- USB インターフェースのスイッチを切り替えるときは、必ず DT-X7 を I/O ボックスから外してください。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のため AC アダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- I/O ボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- USB インターフェースでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。
- DT-X7 を装着する際は、しっかりと装着し、I/O ボックス前面の電源表示用 LED が緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- USB クライアントおよび USB ホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- DT-X7 裏面の充電パックカバーに固定部（くぼみ）がないものは、HA-F60IOA をご使用になれません。
- (HA-F60IOA の場合)
DT-X7 が I/O ボックスに装着されている状態のまま DT-X7 を持ち上げないでください。I/O ボックスが不意に落下してけがや故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

I/Oボックス(HA-F60IO/HA-F60IOA)の仕様

1. USB仕様

規格 : USB Ver1.1 準拠
伝送速度 : 12Mbps (MAX)

2. 充電仕様

充電方式 : 定電流定電圧方式
充電時間 : 約3時間(標準充電電池パック)
: 約5.5時間(大容量充電電池パック)

3. 電源部

使用電源 : AD-S42120B
消費電流 : DC12V 1.3A
本体(DT-X7)出力 : DC5V 1.6A (MAX)
USBホスト出力 : DC5V 0.5A (MAX)

4. ACアダプタ仕様

規格名 : AD-S42120B
入力 : AC100-240V 50/60Hz 1.2A
出力 : DC12V 3.5A

5. 外形寸法・質量

外形寸法 : HA-F60IO:
約93(幅)×83(奥行)×101(高さ)mm
HA-F60IOA:
約93(幅)×83(奥行)×104(高さ)mm
質量 : HA-F60IO:
約270g
HA-F60IOA:
約250g

6. 動作環境

動作温度 : 0～40℃
動作湿度 : 30～80%RH(結露なきこと)

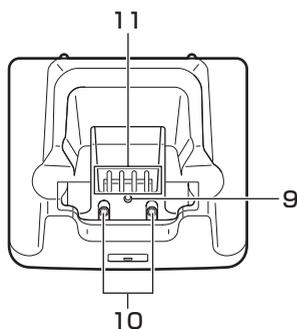
LAN I/Oボックス(HA-F62IO/HA-F62IOA)の取り扱い

別売のLAN I/O ボックス (HA-F62IO/HA-F62IOA) は、DT-X7 とパソコンなどとの間でUSB インターフェースやLAN インターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送（ダウンロード、アップロード）ができます。また、DT-X7 を接続して充電電池パックを充電することができます。

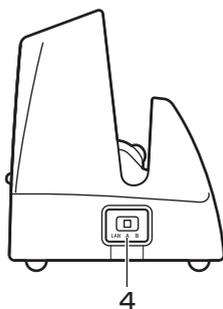
各部の名称とはたらき

HA-F62IO と HA-F62IOA に共通の内容は、HA-F62IO のイラストで説明しています。

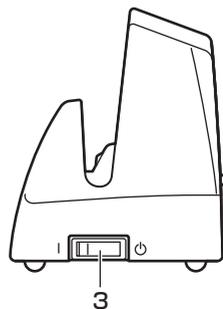
上面



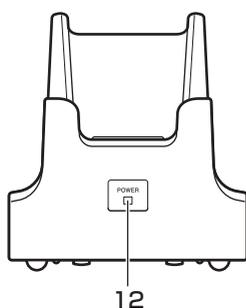
左側面



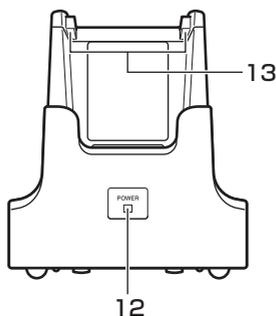
右側面 (HA-F62IOA)



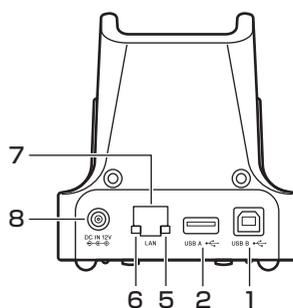
正面 (HA-F62IO)



正面 (HA-F62IOA)



背面

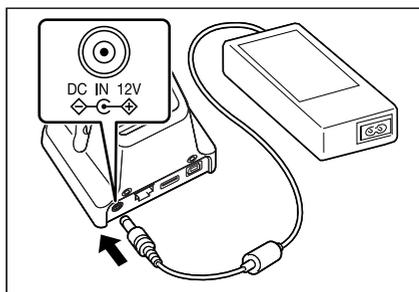


| | | |
|----|-----------------|---|
| 1 | USB クライアント用ポート | USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。 |
| 2 | USB ホスト用ポート | 対応する USB 周辺機器との接続に使用します。 |
| 3 | 電源スイッチ | 電源を ON/OFF するスイッチです。 |
| 4 | 切替スイッチ | USB ホスト、USB クライアント、および LAN の切替えを行うスイッチです。 |
| 5 | LAN 接続状態表示用 LED | LANの接続状態を表示します。 消灯 : LANケーブルが正しく接続されていません。 緑色点灯 : LANケーブルが正しく接続されています。 |
| 6 | LAN 通信状態表示用 LED | LANの稼働状態を表示します。 消灯 : 通信していません。 緑色点滅 : 通信中です。 |
| 7 | LAN 用ポート | LANケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップデート)を行います。DT-X7に専用ドライバをインストールする必要があります。 |
| 8 | AC アダプタジャック | AC アダプタ(別売)を接続して電源を供給します。 |
| 9 | 本体装着検知用スイッチ | DT-X7が正しくセットされていることを検知するスイッチです。 |
| 10 | 給電端子 | DT-X7へ電源を供給する端子です。 |
| 11 | データ通信端子 | 通信を行う端子です。 |
| 12 | 電源表示用 LED | 電源の状態、DT-X7の装着状態を表示します。 消灯 : DT-X7は装着されていません。あるいはACアダプタが接続されていません。 緑色点灯 : 電源 ON、DT-X7が正常に装着されています。 |
| 13 | DT-X7 固定用フック | DT-X7をLAN I/O ボックスに固定するときに使用します。 |

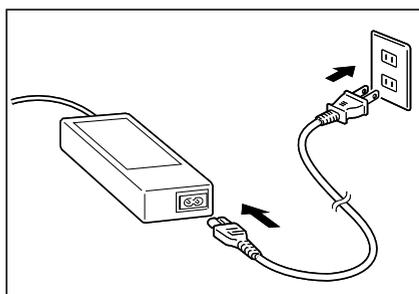
LAN I/O ボックスの電源の取り付けかたと接続

LAN I/Oボックスの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。
DT-X7とデータ通信する前に必ずLAN I/OボックスとACアダプタを接続してください。
DT-X7への電源はLAN I/Oボックスから供給されます。

- 1 LAN I/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

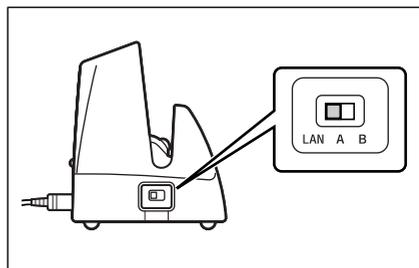


- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 LAN I/Oボックスの左側面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

LAN用ポートを使用する場合はLAN側に、
USBクライアントを使用する場合はB側に、
USBホストを使用する場合はA側に
セットしてください。

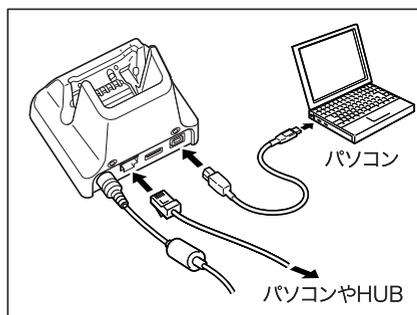


4 使用する前にポートに付いているキャップを取り外してください。

LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します。

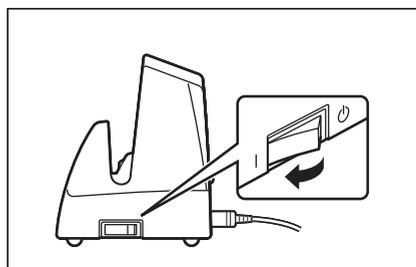
USBケーブル(DT-380USB-A)をLAN I/Oボックス背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



5 (HA-F62IOAの場合のみ)

LAN I/Oボックスの右側面にある電源スイッチをONにします。LAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



6 (HA-F62IOの場合)

DT-X7底面の端子とLAN I/Oボックスの給電端子を合わせるようにして装着します。

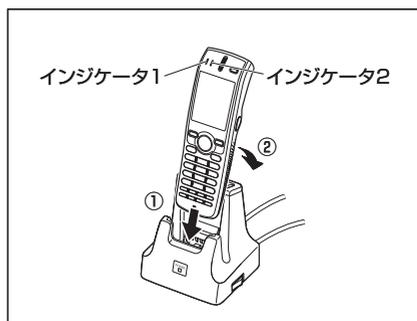
DT-X7が正しく装着されるとLAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

(HA-F62IOAの場合)

DT-X7底面の端子とLAN I/Oボックスの給電端子を合わせるようにしてから押し込み①、LAN I/Oボックスの固定用フックにDT-X7の固定部(くぼみ)を合わせて装着します②。

DT-X7が正しく装着されると充電が開始され、LAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

DT-X7をLAN I/Oボックスから外すときは、DT-X7を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。



DT-X7 のインジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯：充電パックの異常、充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯：充電完了

DT-X7 のインジケータ 2 の表示

青色点滅：Bluetooth® 使用時

オレンジ色点滅：WLAN使用時

マゼンタ色点滅：通信可能状態 (USB 接続時)
(サービスパック Ver.1.02 がインストールされている場合)

緑色点灯：バーコードが正常に読み取れたとき

使用上のご注意

- LAN、USBクライアント、およびUSBホストのスイッチを切り替えるときは、必ずDT-X7をLAN I/O ボックスから外してください。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- LAN I/O ボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。
- DT-X7を装着する際は、しっかりと装着し、LAN I/O ボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- DT-X7裏面の充電電池パックカバーに固定部(くぼみ)がないものは、HA-F62IOAをご使用になれません。
- (HA-F62IOAの場合)
DT-X7がLAN I/O ボックスに装着されている状態のままDT-X7を持ち上げないでください。LAN I/O ボックスが不意に落下してけがや故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

LAN I/Oボックス(HA-F62IO/HA-F62IOA)の仕様

1. LAN仕様

- 通信方式 : IEEE 802.3準拠
- メディアタイプ : 10base-T/100base-TX自動切換

2. USB仕様

- 規格 : USB Ver1.1準拠
- 伝送速度 : 12Mbps (MAX)

3. 充電仕様

- 充電方式 : 定電流定電圧方式
- 充電時間 : 約3時間(標準充電電池パック)
- : 約5.5時間(大容量充電電池パック)

4. 電源部

- 使用電源 : AD-S42120B
- 消費電流 : DC12V 1.5A
- 本体(DT-X7)出力 : DC5V 1.6A (MAX)
- USBホスト出力 : DC5V 0.5A (MAX)

5. ACアダプタ仕様

- 規格名 : AD-S42120B
- 入力 : AC100-240V 50/60Hz 1.2A
- 出力 : DC12V 3.5A

6. 外形寸法・質量

- 外形寸法 : HA-F62IO:
約93(幅)×83(奥行)×101(高さ)mm
HA-F62IOA:
約93(幅)×83(奥行)×104(高さ)mm
- 質量 : HA-F62IO:
約280g
HA-F62IOA:
約260g

7. 動作環境

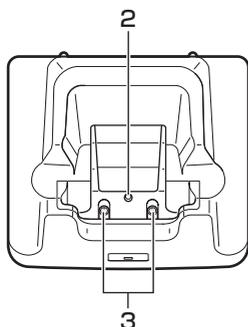
- 動作温度 : 0～40℃
- 動作湿度 : 30～80%RH(結露なきこと)

置くだけ充電器(HA-F30CHG)の取り扱い

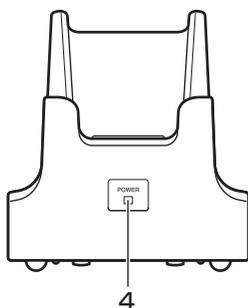
別売の置くだけ充電器(HA-F30CHG)は、DT-X7を接続して、充電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

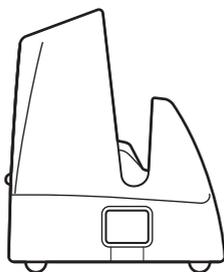
上面



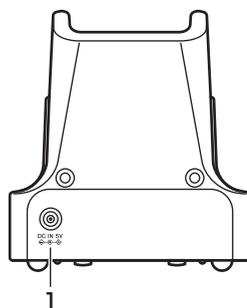
正面



左側面



背面

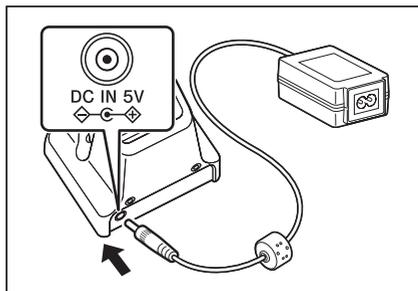


| | | |
|---|-------------|--|
| 1 | ACアダプタジャック | ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。 |
| 2 | 本体装着検知用スイッチ | DT-X7が正しくセットされていることを検知するスイッチです。 |
| 3 | 給電端子 | DT-X7へ電源を供給する端子です。 |
| 4 | 電源表示用LED | 電源の状態、DT-X7の装着状態を表示します。 消灯 : DT-X7は装着されていません。 緑色点灯 : 電源ON、DT-X7が正常に装着されています。 |

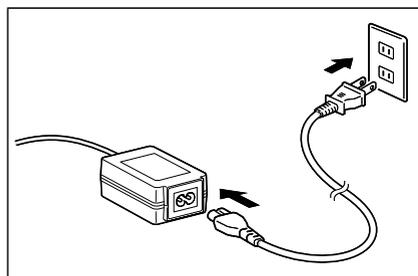
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続

置くだけ充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S15050B)を使用してください。

- 1 置くだけ充電器の背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

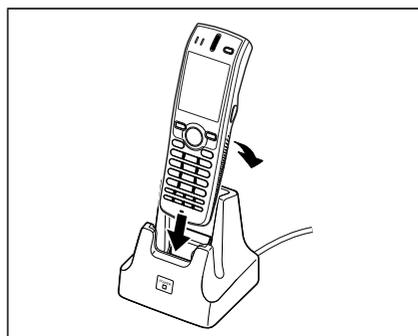


- 2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 DT-X7底面の端子と置くだけ充電器の給電端子を合わせるようにしてから置くだけ充電器の固定用フックにDT-X7の固定部を合わせて装着します。

DT-X7 が正しく装着されると置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



DT-X7のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯：充電パックの異常、充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯：充電完了

使用上のご注意

- 置くだけ充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。
ショートさせると故障の原因となります。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- DT-X7を装着する際は、置くだけ充電器にしっかりと装着し、置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電が行えません。

置くだけ充電器(HA-F30CHG)の仕様

1. 充電仕様

| | |
|------|---|
| 充電方式 | : 定電圧定電流方式 |
| 充電時間 | : 約3時間(標準充電電池パック) 約5.5時間(大容量充電電池パック) |

2. 電源部

| | |
|-------------|-------------------|
| 使用電源 | : AD-S15050B |
| 消費電流 | : DC5V 1.6A |
| 本体(DT-X7)出力 | : DC5V 1.6A (MAX) |

3. ACアダプタ仕様

| | |
|-----|---------------------------|
| 規格名 | : AD-S15050B |
| 入力 | : AC100-240V 50/60Hz 0.4A |
| 出力 | : DC5V 3.0A |

4. 外形寸法・質量

| | |
|------|---------------------------|
| 外形寸法 | : 約93(幅)×83(奥行)×101(高さ)mm |
| 質量 | : 約230g |

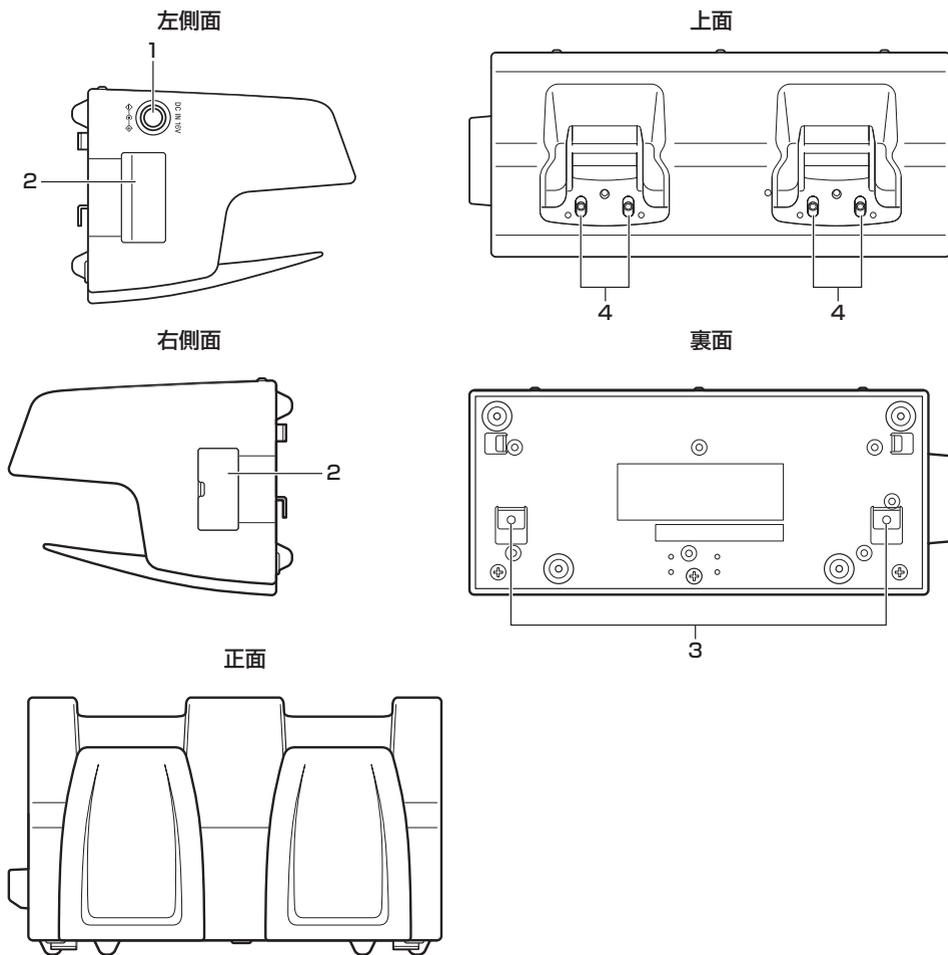
5. 動作環境

| | |
|------|--------------------|
| 動作温度 | : 0～40℃ |
| 動作湿度 | : 30～80%RH(結露なきこと) |

置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の取り扱い

別売の置くだけ集合充電器 (HA-F36DCHG) は、電池をDT-X7に装着した状態で2台同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

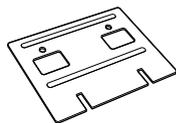


| | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | ACアダプタジャック | ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。 |
| 2 | 置くだけ集合充電器 接続用コネクタ | 置くだけ集合充電器どうしの接続に使います。 |
| 3 | 接続用アタッチメン ト取り付け部 | 置くだけ集合充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメン トを取り付けます。 |
| 4 | 給電端子 | DT-X7へ電源を供給する端子です。 |

付属品

置くだけ集合充電器を2台以上接続する場合に使用します。

- ・接続用アタッチメント
(裏面用)



- ・接続用アタッチメント
(側面用)



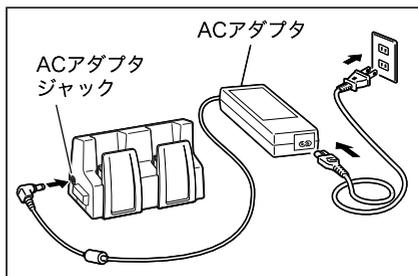
- ・接続用ネジ
(裏面用、側面用)
各2本



充電のしかた

置くだけ集合充電器の電源は、別売の AC アダプタ (AD-S60160B) を使用してください。

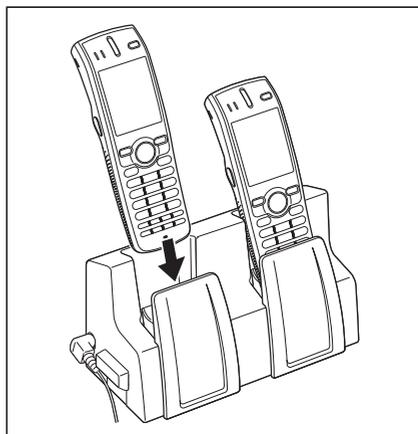
1 置くだけ集合充電器の AC アダプタジャックに AC アダプタのコネクタを差し込みます。



2 専用 AC アダプタのプラグをコンセントに接続します。

3 DT-X7 の底部にある端子と置くだけ集合充電器の端子を合わせるようにしてセットします。

- 充電状態は DT-X7 のインジケータ 1 の表示で確認してください。



DT-X7 インジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯 : 充電中

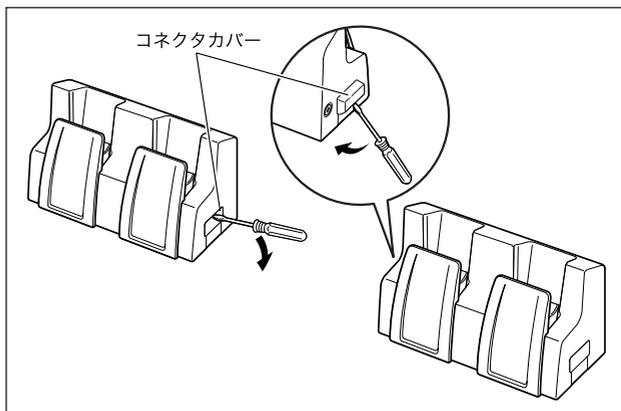
赤色点灯 : 充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中 (充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯 : 充電完了

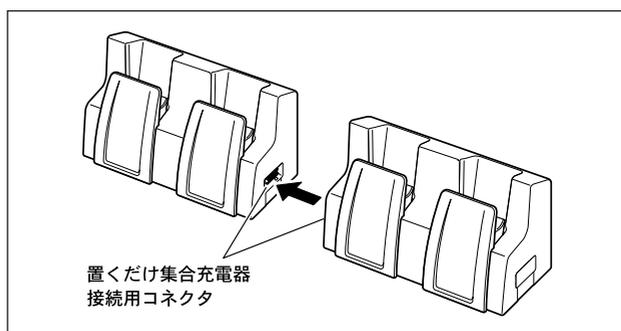
2 台以上の接続

置くだけ集合充電器を 3 台まで接続して、1 つの AC アダプタで使用することができます。

- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



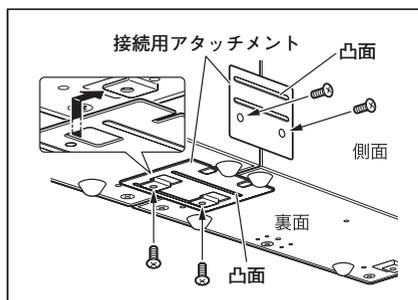
- 2 置くだけ集合充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面と側面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。

同様にして最大3台まで接続することができます。

※ 接続用アタッチメントは、表面が表になるように取り付けます。(溝が凸面になっている方が表面です。)



置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の仕様

1. 充電仕様

| | |
|------|---|
| 充電方式 | : 定電圧定電流方式 |
| 充電時間 | : 約3時間(標準充電電池パック) 約5.5時間(大容量充電電池パック) |

2. 電源部

| | |
|------|---|
| 使用電源 | : AD-S60160B |
| 消費電流 | : DC16V 1.25A (1台) DC16V 3.7A (3台連結) |

本体(DT-X7)出力 : DC5V 1.6A (MAX)

3. ACアダプタ仕様

| | |
|-----|---------------------------|
| 規格名 | : AD-S60160B |
| 入力 | : AC100-240V 50/60Hz 1.5A |
| 出力 | : DC16V 3.7A |

4. 外形寸法・質量

| | |
|------|----------------------------|
| 外形寸法 | : 約189(幅)×80(奥行)×110(高さ)mm |
| 質量 | : 約500g |

5. 動作環境

| | |
|------|----------------------|
| 動作温度 | : 0～40℃ |
| 動作湿度 | : 30～80% RH (結露なきこと) |

使用上のご注意

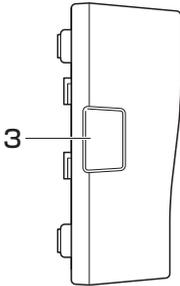
- 給電端子は絶対にショートさせないでください。
ショートさせると故障の原因となります。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- DT-X7を装着する際は、置くだけ集合充電器にしっかりと装着し、DT-X7のインジケータ1の表示で装着されたことを確認してください。
- 接続用アタッチメントは置くだけ集合充電器1台につき、裏面用と側面用各1枚付いています。複数の置くだけ集合充電器を接続すると、接続用アタッチメントがそれぞれ1枚ずつ余ります。余分の接続用アタッチメントは予備として保管してください。
- 置くだけ集合充電器を2台以上接続するときは、必ずACアダプタを抜いてから接続してください。
- DT-X7の電源をOFFにしてからセットしてください。

デュアル充電器(HA-F32DCHG)の取り扱い

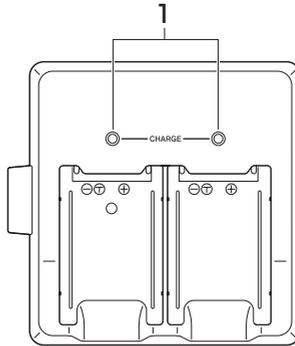
別売のデュアル充電器(HA-F32DCHG)は、充電電池パック2個を同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

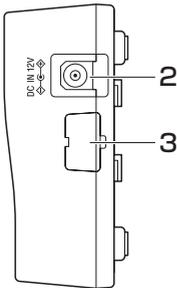
左側面



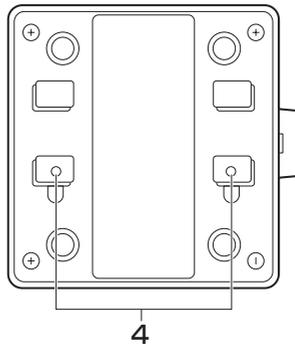
上面



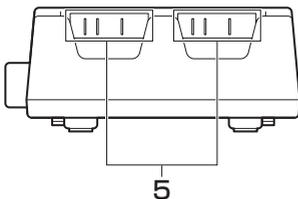
右側面



裏面

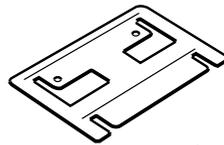


正面



付属品

接続用アタッチメント
ネジ2本



| | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 充電表示用 LED | 充電電池パックの充電状態を表します。 消灯 : 充電しないとき 赤色点灯 : 充電中 赤色点滅 : 電池パックの異常 緑色点滅 : 充電待ち状態 緑色点灯 : 充電完了 |
| 2 | AC アダプタジャック | AC アダプタ (別売) を接続して電源を供給します。 |
| 3 | デュアル充電器接続用端子 | デュアル充電器どうしの接続に使います。 |
| 4 | 接続用アタッチメント取り付け部 | デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。 |
| 5 | 給電端子 | 充電電池との接続端子です。 |

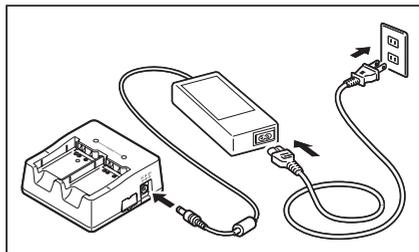
使用上のご注意

- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 充電中に充電電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- 充電中は充電電池を外したりACアダプタを抜いたりしないでください。
- 充電電池の着脱を何回も繰り返すと、充電電池の劣化の原因となります。
- 接続用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。

充電のしかた

デュアル充電器の電源は、別売の AC アダプタ (AD-S42120B) を使用してください。

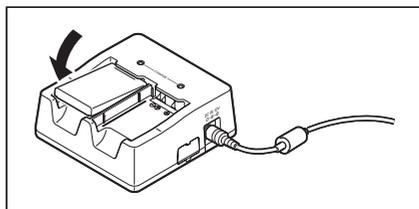
1 デュアル充電器の AC アダプタジャックに AC アダプタのコネクタを差し込みます。



2 別売の専用 AC アダプタのプラグをコンセントに接続します。

3 充電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。

充電表示用 LED が、赤色に点灯して充電が開始されます



充電表示用 LED の表示

消灯 : 充電しないとき

赤色点灯 : 充電中

赤色点滅 : 充電池パックの異常

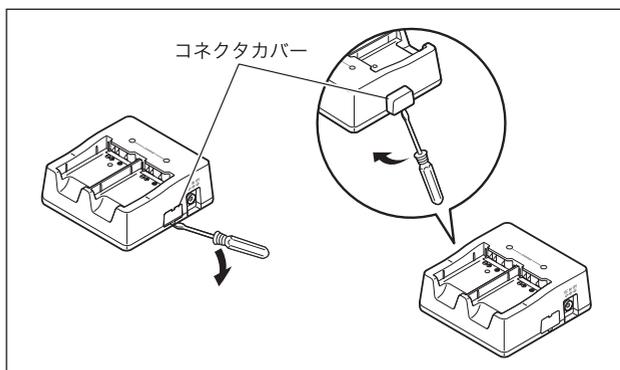
緑色点灯 : 充電完了

緑色点滅 : 充電可能温度 (約 0 ~ 40°C) でないため待機中 (充電可能温度になると充電開始)

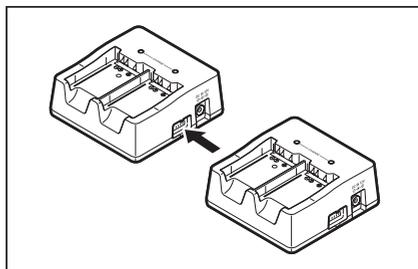
2 台以上の接続

デュアル充電器を 3 台まで接続して、1 つの AC アダプタで使用することができます。

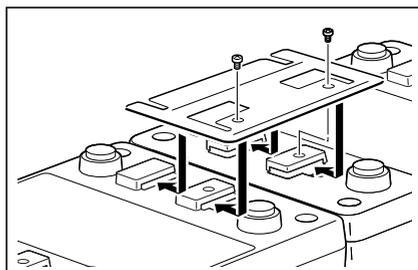
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



- 2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大 3 台まで接続することができます。



デュアル充電器(HA-F32DCHG)の仕様

1. 充電仕様

| | |
|------|--|
| 充電方式 | : 定電圧定電流方式 |
| 充電時間 | : 1個を装着した場合 約3時間(標準充電電池パック1個) 約5.5時間(大容量充電電池パック1個) |
| | : 2個を同時に装着した場合 約5.5時間(標準充電電池パック2個) 約10時間(大容量充電電池パック2個) |

2. 電源部

| | |
|------|---------------|
| 使用電源 | : AD-S42120B |
| 消費電流 | : DC12V 3.5A |
| 出力 | : DC4.2V 1.1A |

3. ACアダプタ仕様

| | |
|-----|---------------------------|
| 規格名 | : AD-S42120B |
| 入力 | : AC100-240V 50/60Hz 1.2A |
| 出力 | : DC12V 3.5A |

4. 外形寸法・質量

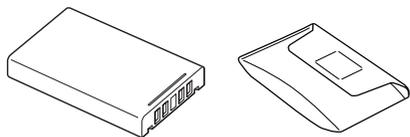
| | |
|------|----------------------------|
| 外形寸法 | : 約108(幅)×104(奥行)×45(高さ)mm |
| 質量 | : 約152g |

5. 動作環境

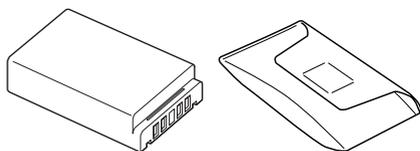
| | |
|------|---------------------|
| 動作温度 | : 0～40℃ |
| 動作湿度 | : 30～80% RH(結露なきこと) |

充電電池パック(HA-F20BAT/HA-F21LBAT)の取り扱い

HA-F20BAT



HA-F21LBAT



本機は、ご使用時間やご使用環境(オプションの使用など)に応じ、2種類の容量の充電電池パックを用意しております。

大容量充電電池パックをご使用になる場合は、同梱の大容量充電電池パック専用のカバーに交換してください。

使用上のご注意

- 充電電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。
- 充電電池パックは使用していても時間とともに性能が低下します。この充電電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われるので、新しいものと交換してください。

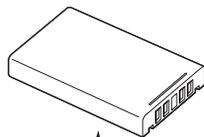
標準充電電池パック(HA-F20BAT)の仕様

| | |
|------|--------------------------|
| 型式 | : HA-F20BAT |
| 公称容量 | : 1100mAh |
| 公称電圧 | : 3.7V |
| 外形寸法 | : 約幅 36 × 奥行 55 × 高さ 9mm |
| 重量 | : 約 28g |
| 付属品 | : ソフトケース |

大容量充電電池パック(HA-F21LBAT)の仕様

| | |
|------|---------------------------|
| 型式 | : HA-F21LBAT |
| 公称容量 | : 1880mAh |
| 公称電圧 | : 3.7V |
| 外形寸法 | : 約幅 36 × 奥行 55 × 高さ 14mm |
| 重量 | : 約 46g |
| 付属品 | : ソフトケース |

警告ラベル (充電電池裏面にあります)



■ ハンドベルト(HA-F95HB)の取り付けかた

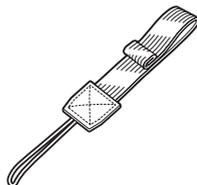
ハンドベルト (HA-F95HB) は、DT-X7 に取り付けて使用します。

同梱品

・取り付け用パーツ



・ハンドベルト



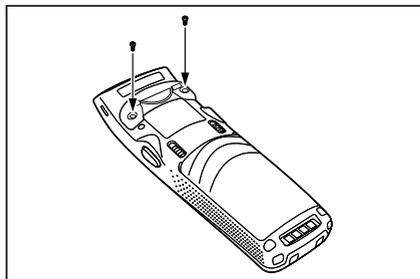
・ネジ 2本



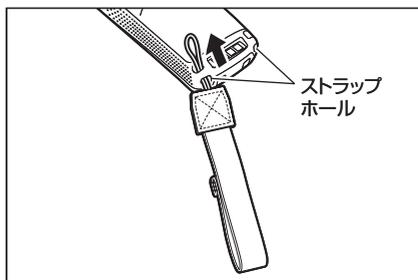
取り付けかた

次の手順で取り付けてください。

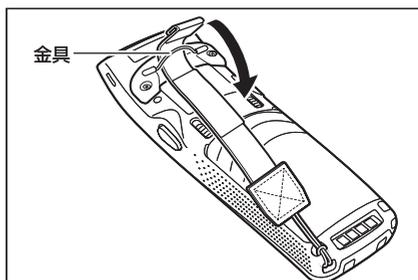
- 1 DT-X7を裏返します。
- 2 DT-X7の背面に、取り付け用パーツを取り付け、同梱のネジで固定します。(2か所)



- 3 ハンドベルト先端のひもを、DT-X7下側のストラップホールに通します。(2カ所のどちらかに通します)



- 4 取り付けパーツの金具にベルトを通し、折り返してマジックテープで固定します。



使用上のご注意

- ハンドベルトを取り付けたDT-X7をI/Oボックスなどに装着するときはしっかり装着し、I/Oボックスの電源表示用LEDやDT-X7のインジケータで装着されたことを確認してください。
正しく装着されないと、充電や通信が行えません。

乾電池パック(HA-F22BC)の取り扱い

※ DT-X7M52、M52S、M52SB、M60SB、M62SB には使用できません。

アルカリ電池の取り扱いについて

⚠ 危険



注意

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告



禁止

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しないでください。絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



注意

- 電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液を舐めた場合には、すぐにうがいをし医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



禁止

- 電池の⊕と⊖を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- この電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



禁止

- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池を変形させないでください。絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

⚠ 注意



注意

- 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、機器を破損させるおそれがあります。



禁止

- 電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内等の高温の場所で使用、放置しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



注意

- 電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると漏液、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

- 電池を水などで濡らさないでください。電池を発熱させるおそれがあります。



注意

- 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- この電池は、一般の不燃ごみとして処理してもよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合は、条例に従って廃棄してください。

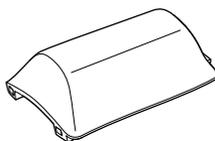
停電や災害で充電器をお使いになれないときは、別売の乾電池パック（HA-F22BC）でDT-X7をお使いいただけます。

※乾電池パックでの連続使用可能時間は約5時間です（新品の単4型アルカリ乾電池4本をセットした場合）。

通常のご使用には、別売の充電電池パックをお使いください。

同梱品

・乾電池パック用カバー

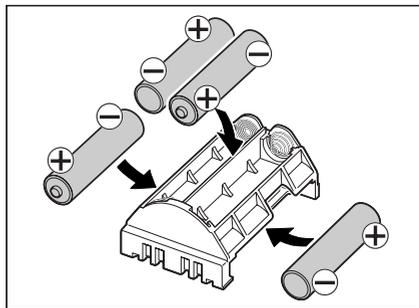


取り付けかた

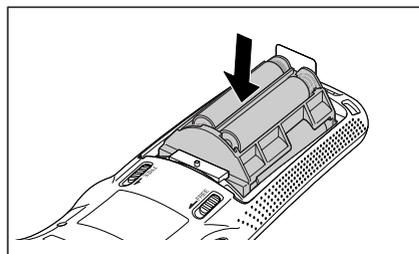
次の手順で取り付けてください。

1 乾電池パックに市販の単4型アルカリ乾電池を4本入れます。

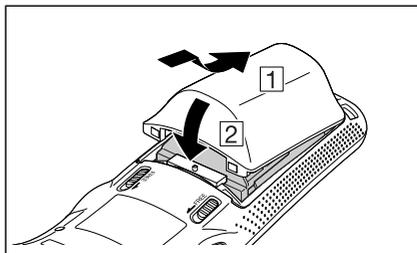
- ・図のように、乾電池の向きを正しく入れてください。



2 乾電池パックをDT-X7にセットします。

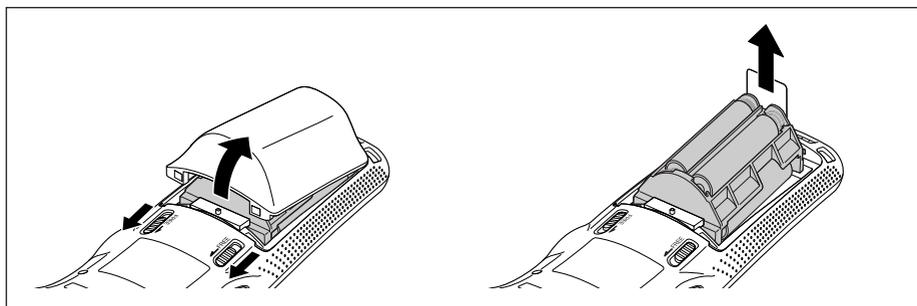


- 3 乾電池パック用カバーをDT-X7に取り付けます。



取り外しかた

- 1 図のように、乾電池パック用カバーをDT-X7から取り外します。



乾電池パック(HA-F22BC)の仕様

1. 電源 : 単 4 型アルカリ乾電池 4 個
2. 出力 : DC4.7V
3. 電池寿命 : 約 5 時間*
4. 外形寸法・質量
外形寸法 : 約幅 37 × 奥行 56 × 高さ 23mm
質量 : 約 15g (乾電池は含まず)

※バックライト輝度が 5 段階目で、待機：キー入力：スキャンが 10:1:1 の場合

使用上のご注意

- 乾電池パックを使用した場合には、以下の機能は使用できません。

無線通信、バイブレータ、充電

また一部の機能の動作は、以下のようになります。

- CPU：104MHz で稼働します。
- バックライト：明るさが 50%減少します。

修理に関する窓口

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00～PM5:30
(日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、048-233-7241にお掛けください。

修理品受付窓口

- 修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

PA リペアセンター



0570-011330

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日
AM9:00～PM5:30
(土・日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

住所：〒405-0075
山梨県笛吹市一宮町東原911-3
甲府カシオ一宮事務所

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、055-347-7211にお掛けください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
☎03-5334-4638(代)